

憲法改悪、教育基本法改悪に反対する連続講座

第7回

12/3(日)

抵抗への招待～

私が出遭った『平和市民』

講師：田中伸尚さん(ノンフィクションライター)

日時：12月3日(日) 午後6時15分～9時(開場6時)

場所：エル大阪(大阪地下鉄・京阪天満橋駅下車5分)

会場費：700円

主催：アメリカの戦争拡大と日本の有事法制に反対する署名事務局

教育基本法改悪に反対する闘いは11月12日に東京で8000人を結集する全国集会を実現し、与党が衆院本会議を強行採決した16日には、5000人を超える人々が国会を包囲して抗議の声を挙げ続けました。国会会期が1ヶ月を切る中、全国の反対運動は安倍右翼政権と対峙し、改悪法案を必ず廃案に出来るという確信を持って闘いを一層強化しています。

連続講座第7回では、日本国憲法と教育基本法を守るための闘いに焦点を当てます。憲法9条を守るための闘い、自衛隊の海外派兵に反対する闘い、政教分離を守るための闘い、首相の靖国参拝に反対する闘い、合祀を拒否する闘い、教育への不当な介入を許さない闘い、日の丸・君が代の強制に反対する闘い、戦後補償のための闘い等々。講演にお招きする田中伸尚さんは、これらの闘いを丹念に取材し、闘う人々を生き生きと描くことで、それらの闘いの持つ意味を明らかにします。全国各地で、歴史的に闘われてきた抵抗と闘争こそが憲法や教基法を精神を生かし反動化をくい止める重要な役割を果たしてきたのです。特に最近では、東京地裁での日の丸・君が代強制違憲予防訴訟の9.21全面勝訴が全国の闘う人々に勇気を与えています。私たちは、闘いを学ぶ中から、日本国憲法の意義、教育基本法の意義を改めて確認したいと思います。

(2006.11.19)

講師紹介 田中伸尚さん ノンフィクションライター。著書に『憲法九条の戦後史』『靖国の戦後史』『日の丸・君が代の戦後史』『遺族と戦後』『ドキュメント 憲法を獲得する人々』『ドキュメント 憲法を奪回する人々』『反忠 神坂哲の72万字』『国立追悼施設を考える』など多数。

アメリカの戦争拡大と日本の有事法制に反対する署名事務局

〒580-0023 大阪府松原市南新町 3-3-28 阪南中央病院労働組合 気付FAX 072-331-1919

<http://www.jca.apc.org/stopUSwar/> e-mail: stopuswar@jca.apc.org